

【小学校・4年・外国語活動・I like Mondays.】

育成を目指す資質・能力

C1（発表や話し合い）

自分のことをよく知ってもらったり、友達のことをよく知ったりするために、好きな曜日について自分の考えや気持ちを伝え合うことができる。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 カメラ機能 アンケート機能 ホワイトボードソフト

言語活動を充実させるために、アンケート機能を使って目的意識を明確にしたり、カメラ機能でやり取りの様子を録画し、中間指導に生かしたりする。また、ホワイトボードソフトを使って、相互評価を行い、児童の学習改善に生かす。

学習の流れ

アンケート機能やカメラ機能の使い方を指導する。

What day do you like? I like ~.の表現を練習し、リアクションの仕方を練習する。

アンケート機能で好きな曜日の分布を確認し、やり取りの様子をカメラで撮り合う。

撮ったデータを共有して、ホワイトボードソフトによかったところを記入する。

事例の概要

「I like Mondays.」の単元で出てくる表現に、授業を通して十分に慣れ親しみ、自信を持って表現できるように指導した。

自分の好きな曜日やその理由について考え、日本語でまとめた。その後、一人一人の表現したいことを簡単な英語で示し、授業の中で練習を行った。

活動を行う際、アンケート機能を使い、友達の好きな曜日の分布をリアルタイムで確認し、「好きな人が少ない曜日を探そう」という目的意識を持たせてインタビューを行った。また、カメラ機能を使ってインタビューの様子を撮り合った。本単元の最終時には、カメラのデータを共有フォルダに入れ、お互いに動画を見合った。その後、ホワイトボードソフトを使って相互評価を行い、本単元の表現やリアクションについてよかったところを共有し、次の単元につなげた。

【小学校・4年・外国語活動・I like Mondays.】

【事例におけるICT活用の場面①】



【事例におけるICT活用の場面②】



ICT活用のポイント

アンケート機能は、アンケートやテストを作成することができ、集計がリアルタイムでグラフ化されるため一目で集計結果が分かる。今回は、好きな曜日をその場で集計することで、友達の好きな曜日の分布を示し、「少ない分布の曜日を探す」という目的意識をもたせるために用いた。

また、ビデオ機能を使ってお互いの英語によるコミュニケーションの様子を撮影し合い、中間指導や振り返りの材料に使用した。授業後に全員で見返すことで、やり取りのポイントをもう一度意識して活動に取り組むことができた。

振り返りの際に、ホワイトボードソフトを使用することで、一人一人のよかったところを全体共有することができた。

様々な教科でICTを活用しているので、外国語活動においてもスムーズに使用することができた。使い方の説明を活動の合間に入れる必要がなかったことで、授業の流れを止めることなく、十分な活動量を確保することができた。

ICT活用事例 CI（発表や話し合い）

小学校4年・外国語活動

I like Mondays. 友達の好きな曜日を調査しよう。

使用用機器：1人1台端末

使用アプリ：カメラ機能、アンケート機能、ホワイトボードソフト

〈ICT活用のポイント〉

- ①ホワイトボードソフトで、友達の好きな曜日の分布を示し、言語活動に目的意識をもたせる。
- ②友達と好きな曜日について伝え合っている様子を、カメラ機能で録画し、全体で共有し、中間指導に生かす。
- ③動画のデータを共有フォルダに保存し、ホワイトボードソフトを使って相互評価を行う。

1 単元名

I like Mondays. 友達の好きな曜日を調査しよう。（Let's Try! 2 Unit3）

2 「Challenge リスト」の形での学習到達目標（第4学年）

話すこと [やり取り]

自分のことについて、ジェスチャーや表情を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。

関係する領域別目標：話すこと [やり取り] イ

3 単元の目標

自分のことをよく知ってもらったり、友達のことをよく知ったりするために、曜日の言い方や好きな曜日について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、曜日について自分の考えや気持ちを伝え合う。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分の好きな曜日について、伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分の好きな曜日について、伝え合おうとしている。

5 単元の指導と評価の計画（全○時間）

時間	目標（◆） 主な言語活動（○）	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	◆曜日の言い方に慣れ親しみ、本単元のゴールの活動について見通しをもつ。 ○Small talk What food do you like? ○Skit Interview Video ○Chants Sunday Monday Tuesday ○Let's watch and think ○Game Concentration game				★本時では、目標に向けて指導は行いが、記録に残す評価は行わない。
2	◆相手に好きな曜日を尋ねる言い方に慣れ親しむ。 ○Small talk What do you have on Mondays? ○Chants Sunday Monday Tuesday ○Hot potato game ○Let's listen ○Who am I Quiz ○Let's watch and think	や			◎曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 (知識・技能)
3 本時	◆友達に好きな曜日とその理由をインタビューする。 ○Small talk What day do you like? ○Gap chants Sunday Monday Tuesday ○Chants What day do you like? ○Interview by the PC	や	や		◎曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 (知識・技能) ◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分の好きな曜日について、伝え合っている。(思考・判断・表現)
4	◆友達や自分のインタビューを動画で振り返り、Jam boardで共有する。 ○Small talk What day do you like? ○Chants What day do you like? ○Feed back		や	や	◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分の好きな曜日について、伝え合っている。(思考・判断・表現) ◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分の好きな曜日について、伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

6 本時の学習

○目標

相手に伝わるように工夫しながら、好きな曜日について尋ねたり答えたりする。

○展開

時間	児童の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉
6分	<p>【Greeting】 I'm hungry / good / full. etc It's sunny / cloudy / rainy.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の聞く曜日を答える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: What day is it today? S: It's Tuesday. T: What day is tomorrow? S: It's Wednesday.</p> </div> <p>【Small Talk】 ・好きな物について話す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A: What fruit do you like? B: I like pineapple. Do you like pineapple? A: Yes, I do. / No, I don't. B: What sport do you like? A: I like soccer. How about you? B: I like tennis.</p> </div>	<p>【Greeting】 HRT: Hello, everyone. ALT: How's the weather today?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活と結び付けながら、児童が曜日の言い方に慣れ親しめるようにする。 ・HRTとALTでお手本を見せる。その後、児童⇄教師、児童⇄児童でやり取りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の答えに応じて、適切なリアクションを取ったり、会話を継続しようとしていたりしていた児童を取り上げ、全体で共有する。
11分	<p>【Chant】 ①Gap chant (オリジナル教材)</p> <p>②Chant 自分の好きなことを入れながら歌う。 What day do you like? I like ~. I have/play~.</p> <p>【Game】 ・ホットポテトゲームをする。 ・リズムに合わせて、自分の好きな曜日とその理由について話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日のピクチャーカードを指しながら、リズムに合わせて言う。児童の様子を見ながら、途中で指しているカードと別の曜日を言う。 ・児童が思考を働かせ、より主体的に活動に取り組めるように工夫する。 ・HRTとALTでデモ見せ、児童とルールを確認する。 	<p>◎曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりすることに慣れ親しんでいる。 (知識・技能)</p>
20分	<p>【Activity】 ICT活用場面①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート機能を使い、クラスの好きな曜日についてアンケートを行い、結果を共有する。 ・アンケート結果から、どうしてその曜日が好きなのかをくわしく知るために友達にインタビューする。 <p>ICT活用場面②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達のインタビューの様子を端末で撮影する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート機能を活用することで、「1番好きな曜日を選んだ友達の理由が聞きたい。」「1番少ない曜日を選んだ友達は誰だろう。探してみたい。」など、児童の思いを引き出すようにする。 ・機器の操作や、インタビューの言い方がわからない児童には、サポートする。 	



	<ul style="list-style-type: none"> 活動の途中で動画を視聴し、中間指導を基に、やり取りのポイントについて意識し、もう一度インタビューを行う。 <p>A: What day do you like? B: I like Mondays. A: Why? B: I like soccer. I play soccer on Mondays. What day do you like? A: I like Sundays. B: Why? A: I watch TV on Sundays. B: What TV program do you like? A: I like イッテ Q!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童の様子を見ながら、中間指導を行い、全体で活動視点を共有する。 中間指導には、児童が撮影した動画を活用する。 <p>中間指導①（質問内容について）</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ、その曜日が好きかの理由を話している。 相手の答えに合わせて、さらに会話を続けようとしている。 <p>中間指導②（よりよいやり取りについて）</p> <ul style="list-style-type: none"> リアクションを取り入れている。 ジェスチャーを用いている。 	<p>◎自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、自分の好きな曜日について、伝え合っている。 (思考・判断・表現)</p>
8分	<p>【Review】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 あいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のまとめとなる発言や振り返りを行っているか確認する。 あいさつをする。 	

7 ICTの効果的な活用について

自分の発表をカメラ機能で撮ることにより、児童は緊張感をもちつつも楽しく活動に取り組むことができていた。評価の場面になると、パフォーマンステスト形式に発表をさせてしまうことがあったが、1人1台端末を活用することにより、児童にテストということをあまり意識させずに普段のコミュニケーションの様子を録画、評価することができた。また、共有フォルダにそのデータを保存しておくことで、いつでも振り返りを行うことができ、1年間を通じて保存しておくことで、既習の言語材料を思い出させたり、自身の成長を児童に実感させたりすることもできる。

課題としては、1人1台端末を使用する際に、児童の技能の違いによる個別指導が挙げられる。普段から様々な教科で使っていないと、端末の使い方を説明する際に多くの日本語を使うことになり、英語学習の雰囲気を壊してしまう。クラスルームイングリッシュによる指示で、児童が理解できるように、普段から端末の使い方に慣れていることが大切である。また、評価に向けてやり取りの様子を録画する際に、2人組で行うと撮影に気を取られてしまい、相手の目を見て対話することが難しいということが分かった。3人組を作り、1人を撮影係とすることで、自然な対話を記録することができるとともに、撮影者も第三者として、会話の内容を聞き取ろうとしていた。その単元において、そのような資質・能力を評価するかを指導者が見通しをもち、動画の撮り方を考えていく必要があると感じた。

アンケート機能



ホワイトボードソフト（振り返り）

